

「こんな時、開祖さまならどうする？」 例題の募集について

来る「壮年の日」では、「こんな時、開祖さまならどう考えるのだろう？」
「こんな問題を、開祖さまならどう受け止め、何をされるだろう」という
例題を挙げて参加者みんなで考え、開祖さまを肌で感じたいと思います。

例えば…

- 娘が毎日遅くまで帰ってこない。開祖さまならどう考えるだろう？
- 仕事がうまくいかず落ち込んでいる。開祖さまならどうするだろう？

具体的でなくても結構です。ご自身が抱えている問題でも、家族や知り
合いが抱えている問題でも構いません。「目の前に開祖さまがおられたら
聞いてみたい」という例題を支部実行委員までお寄せください。

なお、お名前はペンネームでお願いいたします。合掌

提出期限：平成 30 年 6 月 10 日(日)

開祖さまなら、こんな時どうしますか？

支部／ペンネーム

「穴埋め川柳・俳句」の募集について

教団創立 80 周年。記念すべき年の年頭にあたり会長先生より、
「^{ぎょうねん}行年五十にして四十九の非を知る。六十にして六十^け化す」

(50 歳になったらそれまでの生き方を反省し、60 歳になったら相応しい変化を志す)

と、絶えざる創造を続けることの大切さをご法話頂きました。

あなたが「これからやろう」と思っていることや、日々感じて
いることを 五・七・五調 にまとめてみませんか？

- 「サラリーマン川柳」のように季語などは不要です。
- お名前はペンネーム(柳号・俳号)でも結構です。
- 提出期限：平成 30 年 6 月 10 日(日) 支部実行委員まで

ひとこと

支部
氏名

お
と
し
ご
ろ

こ
れ
か
ら
だ



